



## 2024年12月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年8月6日

上場会社名 GMO TECH株式会社 上場取引所 東  
コード番号 6026 URL <https://gmotech.jp/>  
代表者（役職名） 代表取締役社長CEO（氏名） 鈴木明人  
問合せ先責任者（役職名） 執行役員CFO（氏名） 本堂宏樹（TEL） 03(5489)6370  
半期報告書提出予定日 2024年8月9日 配当支払開始予定日 —  
決算補足説明資料作成の有無 : 有  
決算説明会開催の有無 : 有（アナリスト・機関投資家向け）

（百万円未満切捨て）

### 1. 2024年12月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年1月1日～2024年6月30日）

#### （1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期中間期	3,694	29.7	516	70.3	553	78.7	371	52.4
2023年12月期中間期	2,849	14.7	303	35.7	309	38.1	243	—

（注）包括利益 2024年12月期中間期 366百万円（50.8%） 2023年12月期中間期 243百万円（—%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2024年12月期中間期	341.30	272.41
2023年12月期中間期	223.15	—

#### （2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年12月期中間期	2,541	971	38.2
2023年12月期	2,756	806	29.3

（参考）自己資本 2024年12月期中間期 971百万円 2023年12月期 806百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年12月期	0.00	0.00	0.00	184.48	184.48
2024年12月期	0.00	0.00			
2024年12月期（予想）			0.00	293.06	293.06

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2024年12月期の連結業績予想（2024年1月1日～2024年12月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,200	15.1	1,040	83.7	1,037	84.4	640	57.9	586.11

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無  
新規 一社(社名) 一 、除外 一社(社名) 一

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年12月期中間期	1,100,620株	2023年12月期	1,100,620株
② 期末自己株式数	2024年12月期中間期	32,140株	2023年12月期	36,305株
③ 期中平均株式数(中間期)	2024年12月期中間期	1,067,290株	2023年12月期中間期	1,060,986株

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	5
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、コロナ禍からの脱却が進み、個人消費の回復やインバウンド需要の拡大が進む中、拡大基調で進みつつあります。

当社の事業領域である国内インターネット広告市場についても拡大傾向にあり、2024年度にはインターネット広告媒体費は前年度から8.4%拡大し、2.9兆円を超える見込み(※1)であります。人々の生活の中で、インターネットの利用は引き続き拡大しており、インターネット広告業界も引き続き堅調に推移しました。

(※1)出所：電通グループ4社 2024年3月発表「2023年 日本の広告費 インターネット広告媒体費 詳細分析」

このような環境の下、当中間連結会計期間において、当社グループの集客支援事業は昨年度に続き、顧客基盤を拡大し、売上高を増加させております。不動産テック事業についても、顧客数を着実に増加させることに加え、ストック売上を拡大させております。

以上の結果、当中間連結会計期間における業績は、売上高3,694百万円(前年同期比29.7%増)、営業利益516百万円(前年同期比70.3%増)、経常利益553百万円(前年同期比78.7%増)、親会社株主に帰属する中間純利益371百万円(前年同期比52.4%増)となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

#### ①集客支援事業

集客支援事業には、検索エンジン関連サービス、運用型広告・アフィリエイト広告サービス等を含んでおります。検索エンジン関連サービスにおいては、注力サービスとしておりますMEOサービス(※2)について、新規案件を積上げ、業績は安定して伸長しております。アフィリエイト広告サービスにおいては、直販営業に経営資源を多く投下しております。その結果、当中間連結会計期間におけるセグメント売上高は3,552百万円(前年同期比30.2%増)、セグメント利益は573百万円(前年同期比47.6%増)となりました。

(※2)MEOとは(Map Engine Optimization)の略で、主としてGoogle社が提供するGoogle Mapにおいて上位表示を実現しアクセスを増加させること、またそのための技術やサービスを指します。

#### ②不動産テック事業

不動産テック事業には、連結子会社GMO ReTech株式会社で提供いたします賃貸DXサービス等が含まれます。賃貸運営を楽にする、をミッションとし、賃貸運営に関わる方々をもっと自由にするために、サービス開発、改善に取り組んでまいりました。当中間連結会計期間におけるセグメント売上高は142百万円(前年同期比17.9%増)、セグメント損失は59百万円(前年同期は87百万円の損失)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当中間連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ215百万円減少し、2,541百万円となりました。主な変動要因は、現金及び預金130百万円の減少(前連結会計年度末比10.2%減少)、受取手形、売掛金及び契約資産75百万円の減少(前連結会計年度末比7.4%減)、投資その他資産計32百万円の減少(前連結会計年度末比26.5%減)、等によるものであります。

#### (負債)

当中間連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ380百万円減少し、1,569百万円となりました。主な変動要因は、買掛金92百万円の減少(前連結会計年度末比13.7%減)、未払金76百万円の減少(前連結会計年度末比22.2%減)、賞与引当金71百万円の減少(前連結会計年度末は71百万円)等によるものであります。

#### (純資産)

当中間連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度期間末に比べ164百万円増加し、971百万円となりました。主な変動要因は、利益剰余金157百万円の増加、自己株式10百万円の減少、その他有価証券評価差額金4百万円の減少、等によるものであります。

キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末(2024年6月30日)における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前連結会計年度末(2023年12月31日)に比べ130百万円減少し、1,149百万円となりました。当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間において営業活動の結果増加した資金は144百万円(前年同期は176百万円の増加)となりました。これは主に、税金等調整前中間純利益553百万円であったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間において投資活動の結果減少した資金は38百万円(前年同期は49百万円の減少)となりました。これは、主に無形固定資産の取得による支出36百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間において財務活動の結果減少した資金は236百万円(前年同期は35百万円の減少)となりました。これは主に、配当金の支払い213百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当連結会計期間の業績につきましては、2024年5月8日に公表いたしました通期の業績予想を変更しております。今後、修正の必要が生じた場合には、速やかに開示する予定です。

## 2. 中間連結財務諸表及び主な注記

## (1) 中間連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当中間連結会計期間 (2024年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,279	1,149
受取手形、売掛金及び契約資産	1,030	954
その他	155	155
貸倒引当金	△1	△5
流動資産合計	2,463	2,254
固定資産		
有形固定資産	20	19
無形固定資産	149	177
投資その他の資産	122	90
固定資産合計	292	286
資産合計	2,756	2,541
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	675	582
未払金	345	268
1年内返済予定の長期借入金	70	70
未払法人税等	158	150
契約負債	267	256
賞与引当金	71	-
その他	140	55
流動負債合計	1,728	1,383
固定負債		
長期借入金	210	175
その他	11	11
固定負債合計	221	186
負債合計	1,949	1,569
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	100	100
資本剰余金	386	387
利益剰余金	405	562
自己株式	△92	△81
株主資本合計	799	968
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7	2
その他の包括利益累計額合計	7	2
純資産合計	806	971
負債純資産合計	2,756	2,541

## (2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

## 中間連結損益計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
売上高	2,849	3,694
売上原価	1,744	2,224
売上総利益	1,105	1,470
販売費及び一般管理費	802	954
営業利益	303	516
営業外収益		
助成金収入	3	-
受取和解金	-	20
為替差益	2	9
その他	2	8
営業外収益合計	8	38
営業外費用		
支払利息	2	1
その他	0	-
営業外費用合計	2	1
経常利益	309	553
税金等調整前中間純利益	309	553
法人税、住民税及び事業税	58	150
法人税等調整額	7	31
法人税等合計	66	182
中間純利益	243	371
親会社株主に帰属する中間純利益	243	371

## 中間連結包括利益計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
中間純利益	243	371
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△0	△4
その他の包括利益合計	△0	△4
中間包括利益	243	366
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	243	366

## (3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前中間純利益	309	553
減価償却費	5	14
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△0	3
支払利息	2	1
売上債権及び契約資産の増減額(△は増加)	△64	75
仕入債務の増減額(△は減少)	△80	△92
未払金の増減額(△は減少)	△164	△81
契約負債の増減額(△は減少)	103	△11
受取和解金	-	△20
賞与引当金の増減額(△は減少)	-	△71
その他	72	△86
小計	184	283
利息及び配当金の受取額	0	0
利息の支払額	△2	△1
和解金の受取額	-	20
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△5	△158
営業活動によるキャッシュ・フロー	176	144
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
無形固定資産の取得による支出	△49	△36
投資有価証券の分配金による収入	0	-
貸付けによる支出	-	△1
敷金の差入による支出	△0	△0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△49	△38
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入金の返済による支出	△35	△35
配当金の支払額	-	△213
自己株式の取得による支出	△0	-
自己株式の処分による収入	-	11
財務活動によるキャッシュ・フロー	△35	△236
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	92	△130
現金及び現金同等物の期首残高	1,122	1,279
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,214	1,149

## (4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(追加情報)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	集客支援事業	不動産テック 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,728	120	2,849	—	2,849
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,728	120	2,849	—	2,849
セグメント利益 又は損失(△)	388	△87	300	2	303

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額2百万円は、セグメント間内部取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)の合計は、中間連結損益計算書の営業利益と調整しております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当中間連結会計期間(自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	集客支援事業	不動産テック 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,552	142	3,694	—	3,694
セグメント間の 内部売上高又は振替高	0	—	0	△0	—
計	3,552	142	3,695	△0	3,694
セグメント利益 又は損失(△)	573	△59	514	2	516

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額2百万円は、セグメント間内部取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)の合計は、中間連結損益計算書の営業利益と調整しております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。